

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
政策	1	子育て・福祉の充実
施策	①	子育て支援の充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1 保育士の人数			目標値	人					17	17
				実績値	人	16	16			0	
	現状(R2)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	94.1	94.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	16	17	18	評 価		c	c				
	2 支援員の人数			目標値	人					4	4
				実績値	人	2	2			0	
	現状(R2)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	4	6	評 価		c	c				
	3 子育てボランティアの人数 【累計】			目標値	人					5	5
				実績値	人	0	8			0	
	現状(R2)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	160.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0	5	10	評 価		c	a				
	4 子育て応援ボランティア(仮 称:ファミリーサポート・セン ター)の組織数【累計】			目標値	組織					1	1
				実績値	組織	0	1			0	
	現状(R2)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	—	1	1	評 価		c	a				
成果 指標	1 保育園・保育所の待機児童 数			目標値	人					0	0
				実績値	人	0	0			0	
	現状(R2)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—	—
	0	0	0	評 価		a	a				
	2 子育てに不安を感じていな い世帯			目標値	%					50	50
				実績値	%	—	—			0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	20	50	80	評 価							
	3 (ア)町の子育て支援事業 に満足している保護者			目標値	%					50	50
				実績値	%	—	—	—	—	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	0.0	0.0
	23	50	80	評 価							
特記事項	R3 (2021)			R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1	職員15人、再任用職員1人			職員15人、再任用職員1人							
活－2	子育て支援員2人			子育て支援員2人							
活－3				令和5年3月31日現在の状 況							
活－4				R4.6月事業開始							
成－1	令和3年4月1日現在の状 況			令和4年4月1日現在の状 況							
成－2	「子ども・子育て支援事業計画」改定に伴うアンケート調査を令和5年度末～6年度において実施し、調査する。										
成－3											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>

主な事業・取組	1. 保育サービスを充実させる			R4(2022)年度実績額	224,170千円
細事業名Ⅰ	認定こども園・保育所運営事業	実	2-1-①-1	担当課	子育て支援室
細事業名Ⅱ	子育て支援センター運営事業	実	2-1-①-4	担当課	子育て支援室
細事業名Ⅲ	学童保育運営事業	実	2-1-①-5	担当課	子育て支援室
R4(2022)年度実施内容	未就学児を対象とした認定こども園・保育所の運営及び子育て支援センターの運営事業、小学生を対象とした放課後児童クラブの運営事業を実施し、保育サービスの充実に努めた。				
進捗状況と課題	多様な保育ニーズに応えるため、保育士や支援員等の人材を確保したうえで、保育サービスの充実について検討していく。【児童係】				

主な事業・取組	2. 出産祝い金制度を創設する			R4(2022)年度実績額	1,300千円
細事業名Ⅰ	出産祝い金支給事業	実	2-1-①-2	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	出生した子と生計を同じくする保護者へ祝い金(第1子5万円、第2子5万円、第3子以降10万円)を支給し、子育て家庭の支援を図った。				
進捗状況と課題	子どもの誕生を祝うとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられるよう、子育て家庭の支援が図られた。【児童係】				

主な事業・取組	3. 子育て援助活動を支援する			R4(2022)年度実績額	227千円
細事業名Ⅰ	ファミリー・サポート・センター導入事業	実	2-1-①-3	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	令和4年度事業開始に伴い、サポート会員への制度説明会と交流会を開催した。また、制度周知とサポート会員の募集を町広報等で行い、事業の定着を図った。				
進捗状況と課題	令和4年度に事業を開始したが、サポート会員の確保に課題がある。引き続き制度周知及び会員の募集を行い、事業の定着を図る。【児童係】				

主な事業・取組	4. 防災公園を整備する			R4(2022)年度実績額	6,820千円
細事業名Ⅰ	ひろお防災公園(仮称)整備事業	実	4-3-②-45	担当課	企画課・建設水道課
細事業名Ⅱ	ひろお防災公園(仮称)管理運営事業(R8～)	実	4-3-②-46	担当課	企画課・建設水道課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	新たな防災公園整備の基礎となる基本計画(整備構想)の策定、基本設計を行った。整備構想の策定にあたっては、保育園児・小学生の保護者や保育士・教員、中高生、一般町民と意見交換を行い、内容に反映させた。				
進捗状況と課題	町民の意見を反映させて策定した整備構想に基づき、「みんなの笑顔があふれる遊び場」をめざし、引き続き町民参加による公園づくりを進める。【企画防災係・土木係】				

主な事業・取組	5. 子育て世代包括支援センターの充実を図る			R4(2022)年度実績額	852千円
細事業名Ⅰ	子育て世代包括支援センター運営事業	実	—	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ	養育支援訪問事業	実	—	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	令和2年度開設。保健師等専門職を9人、事務職を1人兼務配置。 令和3年度に保健師を専任で1人配置。あわせて児童の養育について支援が必要であると認められる保護者に対し、相談、助言等による支援を行う養育支援訪問事業に家事援助を新たに追加した。令和4年度、子どもとその家庭及び妊産婦に関する支援を一体的に行う子ども家庭総合支援拠点を設置した。				
進捗状況と課題	令和6年4月からは子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を一体化させたこども家庭センターの設置が努力義務化される。【子ども福祉係】				

＜継続的事业＞					
主な事業・取組	1. 認定こども園ひろお保育園及び豊似保育所の利用環境を整える			R4(2022)年度実績額	195,963千円
細事業名Ⅰ	認定こども園・保育所運営事業	実	2-1-①-1	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	就労などのために家庭で保育のできない保護者に代わって保育するほか、小学校以降の教育の基礎を作るための教育・保育を行った。また、保護者の就労形態に対応するため、時間を延長して保育を実施し、働きながら子育てをする保護者を支援した。				
進捗状況と課題	令和3年度までは年度途中で0歳児に待機児童が発生するなど、保育需要の高まりがある中で保育人材が不足している。今後も待機児童が発生する可能性があり、保育人材の確保に課題がある。今後も継続して保育課程がある道内の学校に対し保育士募集の周知を図っていく。【児童係】				

主な事業・取組	2. 子育て支援センターの支援事業の充実を図る			R4(2022)年度実績額	15,668千円
細事業名Ⅰ	子育て支援センター運営事業	実	2-1-①-4	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	子育て親子の交流の場の提供と交流を促進し、子育て及び子育て支援に関する講習等を行った。また、子育て等に関する相談・援助を実施し、地域の子育て情報の提供、保育園等に在籍していない児童の一時預かりを行った。				
進捗状況と課題	子育て中の家庭を対象に子育て支援事業を実施し、一時的に家庭で保育できない場合に一時保育を実施するなど、保護者の育児不安の軽減と児童の健全育成を図った。【児童係】				

主な事業・取組	3. 放課後児童クラブの利用環境を整える			R4(2022)年度実績額	12,539千円
細事業名Ⅰ	学童保育運営事業	実	2-1-①-5	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童(小学生)に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供し、健全育成を図った。				
進捗状況と課題	個別に支援が必要となる児童への対応や、研修機会の確保のために令和3年度から支援員を増員した。今後も、研修機会の確保など支援員の育成を図る必要がある。【児童係】				

主な事業・取組	4. 乳幼児等医療給付事業を継続する			R4(2022)年度実績額	14,695千円
細事業名Ⅰ	乳幼児等医療給付事業	実	2-1-①-6	担当課	住民課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	就学前乳幼児及び小・中学生の医療費をその保護者に助成した。				
進捗状況と課題	子育て支援策として実施しており、保護者の経済的負担が軽減されるとともに乳幼児等の疾病早期治療の促進が期待される。また、令和5年度からは高校生まで助成範囲を拡大する。【国保係】				

主な事業・取組	5. ひとり親家庭等医療給付事業を継続する			R4(2022)年度実績額	6,016千円
細事業名Ⅰ	ひとり親家庭等医療給付事業	実	2-1-①-7	担当課	住民課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	ひとり親家庭等の母及び父とその児童に医療費の一部を助成した。				
進捗状況と課題	ひとり親家庭の経済的負担が軽減されるとともに、子どもの健全な育成と福祉の増進が図られた。今後はニーズに応じて、助成の範囲を検討していく。【国保係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者	
子 企 住	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・子育てボランティアの確保やファミリーサポートセンター事業が開始され、保育士や支援員も現状維持されており、待機児童も出ていない状況なので、想定どおりに事業が進んでいると評価します。（子育て支援室長） ・子どもの遊び場確保に向け、子育て世帯の意見の把握に努め、公園構想に反映させる方向で進んでいる。（企画課長） ・少子化が加速する中、子を持つ親が躊躇することなく医療機関にかかることができ、安心して産み育てることができる環境を推進できた。（住民課長）	
	B 想定どおりに進んでいる			
	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者	
子 企 住	A 有効であった	評価理由	・各事業について、子育て支援の充実を図る内容となっており、ファミリーサポートセンター事業も新たに開始され、今後の支援の拡大が期待されるので概ね有効と評価します。（子育て支援室長） ・成果が表れるのは後年次になるが、子育て世帯のニーズに応じた公園づくり（子どもの遊び場づくり）を進めており、子育て支援の充実につながるが見込まれる。（企画課長） ・医療費の一部または全部を助成することにより、経済的理由によらず疾病の早期治療の促進が図られた。（住民課長）	
	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

子 育 て 支 援 の 充 実	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	B			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	B			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	C	B			

評価の区分	A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。 B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。 C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。 D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。 E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。
-------	--

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
政 策	1	子育て・福祉の充実
施 策	②	地域福祉の推進

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	コミュニティソーシャルワーカーによる相談人数【単年】		目標値	人					90	90	
				実績値	人	60	26				0	
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	66.7	28.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	84	90	95	評 価		C	C					
	2	障がい者や高齢者など様々な立場の人が集える場(地域福祉活動拠点・「たまり場」)【累計】		目標値	箇所					3	3	
				実績値	箇所	2	2				0	
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	3	4	評 価		C	C					
成果 指標	1	ボランティアの登録人数【単年】		目標値	人					193	193	
				実績値	人	176	178				0	
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	91.2	92.2	0.0	0.0	0.0	0.0
		188	193	198	評 価		C	C				
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活－1				独居高齢者訪問事業未実施のため実績減(実施主体:社協)								
活－2		なごやかサロン、のびのびサロン		なごやかサロン、のびのびサロン								
成－1		介護予防ボランティア135人、福祉ボランティア41人		介護予防ボランティア139人、福祉ボランティア39人								

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	- a 目標達成に向け順調に進んでいる。 - b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 - c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 - d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 - e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>				
主な事業・取組	1. 多様な世代が集い、交流する場をつくる			R4(2022)年度実績額 339千円
細事業名Ⅰ	老人福祉センターWi-Fi環境構築委託事業	実	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ		実	担当課	
細事業名Ⅲ		実	担当課	
R4(2022)年度 実施内容	月に1回程度、多様な世代が集う場として老人福祉センターを拠点に「なごやかサロン」、「のびのびサロン」を実施し、介護予防運動やパークゴルフ、ゲームなどで交流を行っている。重層的支援体制整備事業として、「スマートフォン講習会」を2回実施し、講師である広尾高校生と、参加者である高齢者の交流を図った。			
進捗状況と課題	多様な世代が集える場として、各種イベントの実施回数を増やしていく。【福祉係】			

主な事業・取組	2. 地域福祉を担う人材を育成する			R4(2022)年度実績額	614千円
細事業名Ⅰ	介護職員初任者研修開催事業	実	2-2-②-43	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ	介護人材育成交付金事業	実	2-2-②-44	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	介護職員初任者研修は例年どおり実施。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受講者は4人にとどまった。				
進捗状況と課題	介護人材を育成する事業以外にも、地域福祉活動を担うリーダーを育てる研修や小・中学生や高校生が福祉への関心を高める取組を進める必要がある。介護職員初任者研修は、受講者が受講しやすいよう時期や時間帯を工夫していく。【福祉係】				

主な事業・取組	3. 相談支援体制を強化する			R4(2022)年度実績額	16,944千円
細事業名Ⅰ	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	実	2-1-②-10	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ	民生委員活動事業	実	2-1-②-11	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	コミュニティソーシャルワーカー配置事業は、広尾町社会福祉協議会に委託し、様々な課題に対応する専門職員を配置し、地域における見守り・発見・繋ぎ・資源開発機能の強化を図った。令和4年度から重層的支援体制整備事業として実施。民生委員活動事業でも、担当地区の要援護者・要保護者の世帯に対する生活相談、援護活動を実施。				
進捗状況と課題	コミュニティソーシャルワーカー、民生委員ともに人材不足、なり手不足が課題。【福祉係】				

主な事業・取組	4. まち全体で福祉に対する意識の醸成を図る			R4(2022)年度実績額	7,629千円
細事業名Ⅰ	社会福祉協議会補助事業	実	2-1-②-14	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	広尾町社会福祉協議会への補助金交付事業。社協では地域福祉の推進を目的に、身障分会等の福祉団体育成、ボランティアセンター活動費、各ボランティア団体への助成などの事業を実施。				
進捗状況と課題	補助内容は近年変わらず実施している。ボランティア活動の担い手不足が課題となっている。【福祉係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 福祉ボランティアポイント制事業を推進する			R4(2022)年度実績額	11千円
細事業名Ⅰ	福祉ボランティアポイント事業	実	2-1-②-12	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	介護予防、福祉ボランティア養成研修修了者に対し、ボランティアに応じたポイントの発行と商品券との交換事業を実施。				
進捗状況と課題	ボランティアの登録人数、活動者数、活動回数は微増している。【福祉係】				

主な事業・取組	2. ボランティアセンターに対する活動費の補助やボランティア団体に対する助成を行い、ボランティアの育成を図る			R4(2022)年度実績額	451千円
細事業名Ⅰ	ボランティア団体活動助成事業	実	2-1-②-13	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	広尾町社会福祉協議会に委託し、ボランティアセンターに対する活動費の補助や、ボランティア団体に対する助成を実施。				
進捗状況と課題	短期的事業4と同様であるが、近年ボランティア活動の担い手不足が課題である。【福祉係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	保健福祉課長 宝泉
○	A 想定以上に進んでいる	評価理由			
	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

ボランティアの登録人数は目標に達していないが、微増している。コミュニティソーシャルワーカー配置事業では、委託先である広尾町社会福祉協議会が、地域における見守り・発見・繋ぎ・資源開発機能の強化を図るため精力的に活動している。

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	保健福祉課長 宝泉
○	A 有効であった	評価理由			
	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

各事業課題はあるものの、課題解決に向け進捗しており、事業の構成や規模は概ね有効である。

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

地域福祉の推進	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	C	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
政 策	2	高齢者・障がい者福祉の充実
施 策	①	高齢者・障がい者福祉の充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	「お互いさまひろお通信」での 情報発信回数【単年】			目標値	回					6	6
					実績値	回	3	2			0	
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	3	6	7	評 価		c	c					
	2	広報紙、各種会議等での老人 クラブ加入促進広報回数【単年】			目標値	回					1	1
					実績値	回	1	1			0	
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	－	1	2	評 価		a	a					
成果 指標	1	「お互いさまひろお」の活動 者数			目標値	人					35	35
					実績値	人	20	38			0	
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	57.1	108.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	27	35	40	評 価		d	a					
	2	高齢者勤労事業部登録者 数【単年】			目標値	人					50	50
					実績値	人	37	44			0	
	現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	74.0	88.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	45	50	50	評 価		c	c					
	3	老人クラブ加入者数【単年】			目標値	人					390	390
					実績値	人	351	331			0	
現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	90.0	84.9	0.0	0.0	0.0	0.0		
381	390	400	評 価		d	d						
特記事項	R3 (2021)			R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活－1	生活支援コーディネーター の活動通信			生活支援コーディネーター の活動通信								
活－2												
成－1	地域の支え合い仕組みに 参加する町民数			地域の支え合い仕組みに 参加する町民数								
成－2												
成－3												

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>

主な事業・取組	1. 高齢者が生きがいを持って、活躍できる場をつくる	R4(2022)年度実績額		3,344千円
細事業名Ⅰ	高齢者勤労事業部運営事業	実	2-2-①-17	担当課 保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ	高齢者等生活支援・いきがい活動支援事業	実	2-2-①-18	担当課 保健福祉課福祉係
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	高齢者勤労事業部運営事業は、広尾町社会福祉協議会に委託し、高齢者の豊かな経験と技術を生かした就労の場の確保と、就労を通じた生きがいの充実を目的として、その運営に補助を行い高齢者の社会参加の促進に寄与した。対象者に対し周知のダイレクトメールを送付し、一定の効果があつた。 高齢者等生活支援・いきがい活動支援事業は、広尾町社会福祉協議会に委託し、軽度生活援助事業、給食サービス事業、布団選択乾燥消毒サービス事業を実施。			
進捗状況と課題	高齢者勤労事業部運営事業の登録者数は、防災無線等で周知しているがコロナの影響もあり登録者数は伸び悩んでいる。高齢者等生活支援・いきがい活動支援事業は、3事業ともR3実績に比べ横ばいであるが、今後も広報誌等で事業の周知に努める。【福祉係】			

主な事業・取組	2. 障がい者が地域で安心して暮らせる環境をつくる	R4(2022)年度実績額		15,110千円
細事業名Ⅰ	地域生活支援事業	実	2-2-①-19	担当課 保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	地域生活支援事業として、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業、日中一時支援事業、相談支援機能強化事業を実施。			
進捗状況と課題	上記4事業の実績としてはR3に比べ横ばいであるが、相談支援機能強化事業の相談件数は新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少している。【福祉係】			

<継続的事业>

主な事業・取組	1. 高齢者勤労事業部に対する運営補助を行い、高齢者の就労の場を確保する	R4(2022)年度実績額		1,000千円
細事業名Ⅰ	高齢者勤労事業部運営事業	実	2-2-①-17	担当課 保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	広尾町社会福祉協議会に委託し、高齢者の豊かな経験と技術を生かした就労の場の確保と、就労を通じた生きがいの充実を目的として、その運営に補助を行い高齢者の社会参加の促進に寄与した。また、対象者に対し周知のダイレクトメールを送付し、一定の効果があつた。			
進捗状況と課題	高齢者勤労事業部運営事業の登録者数は、防災無線等で周知しているが新型コロナウイルス感染症の影響もあり登録者数は伸び悩んでいる。【福祉係】			

主な事業・取組	2. 老人クラブ連合会や単位老人クラブへの運営補助を行い、活動の推進を図る	R4(2022)年度実績額		1,279千円
細事業名Ⅰ	老人クラブ活動支援事業	実	2-2-①-20	担当課 保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	高齢者の生きがいと健康づくり等を推進している、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し運営補助を行った。			
進捗状況と課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動も自粛せざるを得ず、会員数も減少している。【福祉係】			

主な事業・取組	3. 成年後見あんしんセンター業務を社会福祉協議会への委託により実施する			R4(2022)年度実績額		4,856千円
細事業名Ⅰ	成年後見あんしんセンター運営事業	実	2-2-①-21	担当課	保健福祉課福祉係	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度実施内容	広尾町社会福祉協議会に成年後見あんしんセンターの運営を委託し、後見等の業務を適正に行うことができる体制を整備した。					
進捗状況と課題	成年後見の実務を行う社会福祉協議会の職員は、他業務も抱えながら従事しているので、負担が大きくなっている。【福祉係】					

主な事業・取組	4. 障がい者就労体験事業により役場の職場に障がい者を受け入れる			R4(2022)年度実績額		465千円
細事業名Ⅰ	障害者就労体験事業	実	2-2-①-22	担当課	保健福祉課福祉係	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度実施内容	多機能型事業所ゆうゆう舎に事業を委託。障がい者を実習生として受け入れることで、一般企業の障がい者雇用に対する理解を深め、障がい者の社会参加の促進を図った。					
進捗状況と課題	利用者、就労日数、延べ参加人数はR3に比べ伸びている。【福祉係】					

主な事業・取組	5. 高齢者や障がい者等に対する各種生活支援事業を社会福祉協議会への委託により実施する			R4(2022)年度実績額		7,223千円
細事業名Ⅰ	生活支援体制整備事業	実	2-2-①-23	担当課	保健福祉課地域包括支援センター	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度 実施内容	社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置し、地域の支え合いの仕組みづくりを推進した。住民やボランティア、関係団体などが参加する協議体(第1層協議体、第2層協議体)の会議の開催や講演会の開催、新たな資源づくりのための活動、ボランティア勉強会の発足、地域住民の活動に関する広報誌の発行などを行った。					
進捗状況と課題	地域のボランティアや関係団体と支え合いの仕組みに関する検討会や情報発信を行った。またボランティアの継続的な確保、意識醸成のために新たにボランティア勉強会を開催した。今後も地域課題の整理を進めながら、解決に向け検討する。【在宅支援係】					

主な事業・取組	6. 老人福祉施設の維持管理を適切に行い、利用者の安全を確保するとともに、老朽化が進む特別養護老人ホームつつじ苑の改築について、計画期間中に方向性を定める			R4(2022)年度実績額		25,191千円
細事業名Ⅰ	老人福祉センター管理運営事業	実	2-2-①-24	担当課	保健福祉課福祉係	
細事業名Ⅱ	生活支援ハウス管理運営事業	実	2-2-①-25	担当課	保健福祉課福祉係	
細事業名Ⅲ	特別養護老人ホーム改築事業	実	2-2-①-28	担当課	特別養護老人ホーム	
R4(2022)年度 実施内容	(Ⅰ)、(Ⅱ)高齢者の各種活動の施設である老人福祉センター、生活支援ハウスの管理及び運営を行い、高齢者福祉の向上を図った。老人福祉センターの老朽化したボイラーの更新を実施。 (Ⅲ)特別養護老人ホーム改築等検討委員会の開催。また、施設内のプロジェクトチーム及び介護職員会議での検討、他施設への視察を実施した。また、改築についての説明会を開催した。					
進捗状況と課題	(Ⅰ)老人福祉センターの老朽化したボイラーを令和4年度に更新。【福祉係】 (Ⅲ)改築等検討委員会を3回開催し、施設内のプロジェクトチーム及び介護職員会議で9回検討した。また他施設に2回視察を行った。関係機関・団体に向けて改築についての説明会を9回開催し、スケジュールどおり進捗している。【特養】					

主な事業・取組	7. 重度心身障害者医療給付事業を継続する			R4(2022)年度実績額		12,085千円
細事業名Ⅰ	重度心身障害者医療給付事業	実	2-2-①-41	担当課	住民課	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度 実施内容	身障手帳1～3級(3級は内部障害に限る)、重度の知的障がい者(療育手帳A判定)及び精神障がい者手帳1級所持者に医療費の一部を助成した。					
進捗状況と課題	障がい者の健康保持並びに経済的負担の軽減が図られた。また、令和5年度からは所得制限を設けるとともに、高校生までの対象者には全額助成する【国保係】					

3. 施策の評価（担当課における評価）

I：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	
福住特	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・高齢者勤労事業部、老人クラブの会員数は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減っているが、生活支援体制整備事業では委託先の広尾町社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置し、地域の仕組みづくりの推進につながった。老人福祉センターのボイラーについて、更新前は度々故障で休業を余儀なくされていたが、更新により高齢者福祉の向上が図られた。（保健福祉課長） ・施設の基本的事項や介護保険制度等について検討委員会で共有し、今後の改築等に当たってスケジュールどおりに進捗できている。（特養所長） ・医療機関に受診する機会が多い障がいを持つ人に助成することで、安心して暮らせる環境を推進できた。（住民課長）		
	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

II：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	
福住特	A 有効であった	評価理由	・広尾町社会福祉協議会、ゆうゆう舎に委託している地域生活支援事業、障がい者就労体験事業、生活支援体制整備事業等は例年どおり実施し、特に問題なく実施されているので有効である。老人福祉センターも高齢者と他世代が交流する場としてWi-Fi環境を整備し、施策の推進を進めている。（保健福祉課長） ・令和5年度の設計委託に向けて、事業規模や内容について協議検討を行っていくところである。（特養所長） ・医療費の一部または全部を助成することにより、経済的理由によらず疾病の早期治療の促進が図られた。（住民課長）		
	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

高齢者・障がい者の福祉の充実	2・2・1	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
		一次評価（担当課の評価）				
		C	C			
		二次評価（主管者会議の評価）				
		C	C			
		外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
		C	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
政 策	2	高齢者・障がい者福祉の充実
施 策	②	介護予防・介護サービスの充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	認知症サポーター養成者 数【累計】		目標値	人					1,600	1,600
				実績値	人	1,695	1,833			0	
		現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	105.9	114.6	0.0	0.0	0.0
	1,236		1,600	2,000	評 価		a	a			
	2	いきいき百歳体操等、通い の場への参加率		目標値	%					9.5	9.5
				実績値	%	8.4	8.3			0	
		現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	88.4	87.4	0.0	0.0	0.0
	8.7		9.5	10.0	評 価		c	c			
成果 指標	1	要介護認定率		目標値	%					17.4	17.4
				実績値	%	15.8	15.8			0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	90.8	90.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	15.2		17.4	18.0	評 価		a	a			
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1		R3受講者数112人		R4受講者138人							
活－2		65歳以上の参加者 214人		65歳以上の参加者 209人							
成－1		認定者403人/65歳以上高 齢者2,553人		認定者398人/65歳以上高 齢者2,512人							

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	- a 目標達成に向け順調に進んでいる。 - b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 - c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 - d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 - e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 認知症施策のさらなる推進を図る			R4(2022)年度実績額	19,353千円
細事業名Ⅰ	認知症サポーター等養成事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅱ	認知症総合支援事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅲ	生活支援体制整備事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
R4(2022)年度 実施内容	認知症に関する相談窓口業務や認知症初期集中支援チームによる認知症高齢者やその家族への支援、認知症地域支援推進員の配置、認知症サポーター養成講座の開催などに取り組んだ。また、認知症上級サポーターが中心となって地域で活動する「チームオレンジ」の活動を推進し、認知症カフェの新規開設に向けた取組みなど地域での認知症支援体制の整備を図った。				
進捗状況と課題	認知症サポーター養成講座は、一般町民や企業、小中学生などを対象に計画的に実施できている。認知症地域支援推進員と生活支援コーディネーターが連携を図り、地域での支え合い体制に関する取組を進めている。認知症当事者やその家族が参加する認知症カフェ「かたつむりカフェ」について、これまで車を持たない高齢者の参加が難しい課題はあったが、サポーターが自主的に送迎を行うなど支え合いの取組が進んでいる。次世代を担う若年層のサポーターが少ないため、若年層のサポーターを増やす取組が必要である。【在宅支援係】				

主な事業・取組	2. 介護を担う人材の育成を図る			R4(2022)年度実績額	614千円
細事業名Ⅰ	介護職員初任者研修開催事業	実	2-2-②-43	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅱ	介護人材育成交付金事業	実	2-2-②-44	担当課	保健福祉課福祉係
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	介護職員初任者研修は例年どおり実施。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受講者は4人にとどまった。				
進捗状況と課題	介護人材を育成する事業以外にも、地域福祉活動を担うリーダーを育てる研修や小・中学生や高校生が福祉への関心を高める取組を進める必要がある。介護職員初任者研修は、受講者により、時期や時間帯を工夫していく。【福祉係】				

主な事業・取組	3. 住民が主体となった介護予防の取組を充実させる			R4(2022)年度実績額	3,903千円
細事業名Ⅰ	一般介護予防事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	介護予防教室の開催や住民主体の通いの場(いきいき百歳体操やサロン等)の支援、介護予防に関する普及促進、理学療法士などが地域で指導や評価を行うなど介護予防の取組を推進した。				
進捗状況と課題	通いの場への参加率について、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を控えた高齢者がいたり、活動が停滞したことで参加率が減少している。介護予防の場への参加率を上げるため、地域での介護予防に関する普及啓発などの取組を進める必要がある。また、介護予防予防教室については、令和5年度より従来の通所型のほか、自宅に対応できる訪問型の内容も取り入れて実施する。【在宅支援係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 認知症サポーターなどが地域で支援を行う仕組みづくりを推進し、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域をつくる			R4(2022)年度実績額	19,353千円
細事業名Ⅰ	認知症サポーター等養成事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅱ	認知症総合支援事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅲ	生活支援体制整備事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
R4(2022)年度実施内容	認知症に関する相談窓口業務や認知症初期集中支援チームによる認知症高齢者やその家族への支援、認知症地域支援推進員の配置、認知症サポーター養成講座の開催などに取り組んだ。また、認知症上級サポーターが中心となって地域で活動する「チームオレンジ」の活動を推進し、認知症カフェの新規開設に向けた取組みなど地域での認知症支援体制の整備を図った。				
進捗状況と課題	認知症サポーター養成講座は、一般市民や企業、小中学生などを対象に計画的に実施できている。認知症地域支援推進員と生活支援コーディネーターが連携を図り、地域での支え合い体制に関する取組を進めている。認知症当事者やその家族が参加する認知症カフェ「かたつむりカフェ」について、これまで車を持たない高齢者の参加が難しい課題はあったが、サポーターが自主的に送迎を行うなど支え合いの取組みが進んでいる。次世代を担う若年層のサポーターが少ないため、若年層のサポーターを増やす取組が必要である。【在宅支援係】				

主な事業・取組	2. 多職種連携会議などを通じて、切れ目のない医療と介護サービスが提供できる体制づくりを推進する			R4(2022)年度実績額	8,374千円
細事業名Ⅰ	在宅医療・介護連携推進事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅱ	地域ケア会議推進事業(地域支援事業)	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	医療・介護関係者が集まる多職種連携会議の開催やICTの活用など連携を高める取組を推進した。また、高齢者の事例を検討する地域包括ケア個別検討会議や介護支援専門員部会などを開催し、高齢者支援や地域課題などについて検討を行った。				
進捗状況と課題	町内の医療・介護関係者を参集した各種会議を開催し、医療と介護の連携に関する課題などについて検討した。また、医療・介護関係者向けに外部講師を招いた研修会を開催し、終末期ケアについて学び専門職の質の向上などを行った。切れ目なく医療・介護サービスを提供するためには資源や人材などの充実が必要であるが、24時間365日対応できる医療・介護の提供体制の未整備や介護人材の不足などの課題がある。【在宅支援係】				

主な事業・取組	3. 介護保険財政の健全運営に努める			R4(2022)年度実績額	107千円
細事業名Ⅰ	介護給付費等適正化事業	実	2-2-②-45	担当課	保健福祉課介護保険係
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	介護保険サービス利用者に対し、介護給付費の額、サービス内容の実績通知を行った。(年4回)				
進捗状況と課題	利用者にとってわかりやすく、効果的な通知となるよう改善する必要がある。【介護保険係】				

主な事業・取組	4. 広報紙、防災無線を通じて、介護保険の制度やサービス、介護予防活動などを周知する			R4(2022)年度実績額	81,095千円
細事業名Ⅰ	地域支援事業	実	2-2-②-42	担当課	保健福祉課地域包括支援センター
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	地域包括支援センターの全ての事業や介護保険制度について、広報紙や防災無線、各種会議、窓口での相談、訪問先などで情報発信や普及啓発を行った。				
進捗状況と課題	広報や防災無線などを通じて、随時介護保険制度や高齢者の生活のための情報を発信した。また、窓口や訪問先での相談業務においても、パンフレットなどを活用しながら情報発信している。【在宅支援係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）

記載者

地域包括支援センター長 村上

	A 想定以上に進んでいる	評価理由	毎年計画的に認知症サポーター養成講座、いきいき百歳体操サポーター養成講座を実施しており、計画的には想定どおりに進んでいると言える。役場内での認知症サポーター養成講座、ステップアップ養成講座も実施し、職場内での認知症対応に関する質の向上につながったと考える。これらの取組は高齢者が介護になることを予防する一助となっており、要介護認定率上昇の抑止につながっている。
○	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）

記載者

地域包括支援センター長 村上

	A 有効であった	評価理由	認知症の症状、対応についての理解を深めることは、認知症の早期発見・進行の防止の一助となっている。認知症施策やいきいき百歳体操をはじめとする介護予防事業は、要介護認定率上昇の抑止効果をもたらしていると考える。今後も職域における認知症サポーター養成講座を開催する等取組の推進を要する。
○	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

サ イ ・ ・ 充 実	介 護 予 防 の 介 護	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
一次評価（担当課の評価）						
	2	A	B			
二次評価（主管者会議の評価）						
	2	A	B			
外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）						
	2	A	B			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができています。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
政 策	3	健康づくりの推進
施 策	①	健康づくりの推進

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標			年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	健康チェックの必要性に関する啓発回数【単年】	目標値	回					2	2
			実績値	回	2	2				0
			現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	1	2	2	評 価		a	a			
	2	健康増進用品の周知回数【単年】	目標値	回					4	4
			実績値	回	2	2				0
			現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	2	4	5	評 価		c	c			
	3	食育教室の開催回数【単年】	目標値	回					2	2
			実績値	回	8	8				0
			現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	400.0	400.0	0.0	0.0	0.0
	0	2	2	評 価		a	a			
成果 指標	1	特定健診を受けている人の割合	目標値	%					60	60
			実績値	%	52.5	56.3				0
			現状(H30) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	87.5	93.8	0.0	0.0	0.0
	33.7	60	60	評 価		b	b			
	2	特定保健指導を利用する人の割合	目標値	%					60	60
			実績値	%	66.7	72.4				0
			現状(H30) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	111.2	120.7	0.0	0.0	0.0
	35.7	60	60	評 価		a	a			
	3	運動習慣がある人の割合	目標値	%					30	30
			実績値	%	26.3	23.4				0
			現状(H30) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	87.7	78.0	0.0	0.0	0.0
	27.8	30	35	評 価		c	c			
	4	朝食を欠食する人の割合	目標値	%					0	0
			実績値	%	5.4	5.9				0
			現状(H30) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—
	1	0	0	評 価		c	c			
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活－1										
活－2										
活－3	ひろお保育園3～5歳児：各2回、豊似保育園：2回計8回		ひろお保育園3～5歳児：各2回、豊似保育園：2回計8回							
成－1	見込値(KDBシステムより)		見込値(KDBシステムより)							
成－2	見込値		見込値							
成－3	見込値(KDBシステムより)		見込値(KDBシステムより)							
成－4	全国学力・学習状況調査		全国学力・学習状況調査							

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>

主な事業・取組	1. 自分の健康を管理する意識を向上させる	R4(2022)年度実績額		6,213千円
細事業名Ⅰ	けんしんスタンプカード事業	実	2-3-①-48	担当課 保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ	特定健康診査等事業	実	2-3-①-49	担当課 保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅲ	高齢者健康診査事業	実	2-3-①-50	担当課 保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅳ	健康づくりに関する普及啓発事業	実		担当課 保健福祉課健康管理センター
R4(2022)年度実施内容	自分自身で健康を管理することの意識を高めるため、年間の保健事業スケジュールをまとめた「我が家の健康づくりガイド」の全戸配布や健康管理センターだよりの発行、特定健診の特集ページを広報に掲載した。また、個別訪問等による国保特定健診の受診勧奨を行った。			
進捗状況と課題	特定健診の受診状況は計画通りに進捗しているが、定着するよう働きかけを続ける必要がある。【保健推進係】			

主な事業・取組	2. 健康寿命を延ばす食育の推進を図る	R4(2022)年度実績額		19千円
細事業名Ⅰ	保育園における食育教室	実		担当課 保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	幼少期からの食育が健康づくりに重要であることから、保育園児(3～5歳児)を対象に食育教室を新たに実施した。また、食べることを楽しむ、食べ物と体のことに関心を持つ、食べ物の働きを知ることをねらいとし、エブリンシアターや絵パネル等を用いて講話や体験を行った。延べ188名の園児が参加。実施後は保護者に向けて通信を配布した。			
進捗状況と課題	子どもの食の問題は家庭環境の問題が多いが、親世代の食習慣を変えることは非常に困難である。そのため、子どもに望ましい食習慣を伝え、そこから家族の食改善にもつながるよう継続的に事業を進めていく必要がある。【保健推進係】			

主な事業・取組	3. 運動習慣を定着させる	R4(2022)年度実績額		0千円
細事業名Ⅰ	健康キャラバン事業	実	2-3-①-51	担当課 保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	町内会や老人クラブを対象とした健康キャラバンを実施し、コロナ禍における健康づくりや運動方法について紹介した。			
進捗状況と課題	新型コロナの感染状況により町内会等の活動自体が自粛傾向にあったが、運動習慣がある人の割合が少ないという課題もあることから、感染防止策を講じながら取組を継続していく。【保健推進係】			

<継続的事业>

主な事業・取組	1. 自分の健康を管理するための普及啓発を行う	R4(2022)年度実績額		0千円
細事業名Ⅰ	健康キャラバン事業	実	2-3-①-51	担当課 保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	自分自身で健康を管理することの意識を高めるため、年間の保健事業スケジュールをまとめた「我が家の健康づくりガイド」の全戸配布や健康管理センターだよりの発行、特定健診の特集ページを広報に掲載した。また、個別訪問等による国保特定健診の受診勧奨を行った。			
進捗状況と課題	対象者に効果的にメッセージが届くよう、媒体を工夫しながら普及啓発を行う必要がある。【保健推進係】			

主な事業・取組	2. 健康増進用品の周知・貸出や、ウォーキングマップの紹介を行う		R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課	保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実	担当課	
細事業名Ⅲ		実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	健診の結果説明会やホームページ等にて、健康増進用品の周知や貸出、ウォーキングマップの紹介を行った。			
進捗状況と課題	今後も、健康増進用品の貸出やウォーキングマップの周知を継続する。【保健推進係】			

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）

	A 想定以上に進んでいる	評価理由	活動指標と成果指標7項目のうち、a評価が3項目、b評価が1項目、c評価が3項目であり、概ね推進できていると判断した。
○	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）

	A 有効であった	評価理由	子どもへの食育事業については、成果として現れるには時間がかかる部分があるが、健診勧奨事業について成果として現れていた。
○	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

健康づくりの推進	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	B	B			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	B	B			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	B	B			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5 年 11 月

基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
政 策	3	健康づくりの推進
施 策	②	地域医療体制の充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標					年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	診療科数			目標値	科					9	9
					実績値	科	10	10				0
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	111.1	111.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	9		9	9	評 価		a	a				
	2	常勤医数			目標値	人					4	4
					実績値	人	4	3				0
	現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	100.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3		4	5	評 価		a	b					
成果 指標	1	1日平均患者数(外来)			目標値	人					171	171
					実績値	人	220.1	187.4				0
	現状(R1) ※9月末		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	128.7	109.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	166		171	175.0	評 価		a	a				
	2	1日平均患者数(入院)			目標値	%					41	41
					実績値	%	28.4	25.9				0
	現状(R1) ※9月末		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	69.3	63.2	0.0	0.0	0.0	0.0
37.7		41	41.0	評 価		c	d					
特記事項		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活－1		内科ほか9科		内科ほか9科								
活－2		内科医3名、外科医1名(令和4年3月31日時点)		内科医2名、外科医1名(令和5年3月31日時点)								
成－1		53,268人÷242日		38,911人÷243日								
成－2		10,382人÷365日		9,450人÷365日								

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>

主な事業・取組	1. 国保病院の診療体制を充実させる	R4(2022)年度実績額		192,743千円
細事業名Ⅰ	国保病院運営交付金	実	2-3-②-53	担当課 保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	入院医療は、一般病床48床のうち32床を地域包括ケア病棟、16床を急性期病棟とし、一つの病棟に急性期・回復期・慢性期の機能が実装された入院料の組み合わせを維持した。外来医療は、町内の診療所が提供していない循環器内科等の診療分野で、需要に即した診療体制や診療機能の補完を行い、「かかりつけ医」としてプライマリケア機能を担った。			
進捗状況と課題	業務運営面では、医師、看護師及び薬剤師等は現在も人員不足である。コロナ禍により人的移動に制約がある状況ではあるが、必要な人材の確保を今後も進め、質の高い医療の提供に努めていく必要がある。【健康管理センター】			

主な事業・取組	2. 地域医療機関の連携を強化する	R4(2022)年度実績額		0千円
細事業名Ⅰ	医療懇談会の開催	実		担当課 保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	町内の医療機関の連携を推進するため、医療懇談会を開催した。また、北斗病院との連携により、診療面では各診療科への医師の派遣、当直医の対応、耳鼻咽喉科の開設などが実現した。			
進捗状況と課題	町の医療体制や町民の健康課題において共通の認識を持ち連携を推進することは、町民が安心して暮らし続ける上で重要な要素である。【健康管理センター】			

主な事業・取組	3. 地域包括ケアシステムを充実させる	R4(2022)年度実績額		0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	広尾医療介護連携支援センターの運営により、医療と介護の連携を強化し、患者への入退院支援を行った。また、町内医療機関や近隣の介護施設と地域医療連携ネットワークシステム(TMIリンク)を活用した医療・介護の情報共有を行い、地域包括システムの充実を図った。【健康管理センター】			
進捗状況と課題	医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域のニーズに応じた在宅医療の中心的な役割を担う病院として、医療・介護の連携を強化する。【健康管理センター】			

<継続的事业>

主な事業・取組	1. 妊産婦の健診等に必要な交通費等について支援を継続する	R4(2022)年度実績額		1,093千円
細事業名Ⅰ	妊産婦健診通院費等助成事業	実	2-3-②-54	担当課 保健福祉課健康管理センター
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度実施内容	・通院費…妊婦健診869,140円(22人)、出産時50,240円(15人)、産後健診67,120円(16人) ・健診費…1か月健診52,200円(19人)、産婦健診54,360円(20人) 総事業費 1,093,060円			
進捗状況と課題	今後も、妊産婦健診及び1か月児健診や通院にかかる経済的負担を軽減するため、対象者に対する費用助成を継続する。【健康管理センター】			

主な事業・取組	2. 人工透析通院のための経済的負担の緩和のための支援を継続し実施する			R4(2022)年度実績額		5,369千円
細事業名Ⅰ	障害者及び特定疾患患者等通所通園交通費助成事業	実	2-3-②-55	担当課	保健福祉課福祉係	
細事業名Ⅱ	腎臓機能障害者通院送迎サービス事業	実	2-3-②-56	担当課	保健福祉課福祉係	
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度実施内容	療育施設通園児、人工透析及び指定難病等通院者と腎臓機能障害により人工透析療法を受けている者に対し、交通費の一部を助成。					
進捗状況と課題	腎臓機能障害者通院送迎サービス事業について、町内タクシー会社に委託し週3日送迎をしているが、近年利用者が増えてきており、車両や日数を増やすなど検討する必要がある。【福祉係】					

主な事業・取組	3. 国保病院の経営の健全化を図る			R4(2022)年度実績額		123,733千円
細事業名Ⅰ	国保病院運営交付金	実	2-3-②-53	担当課	保健福祉課健康管理センター	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度実施内容	北斗のコンサルティングを受け、財務方法の見直し等、経営改善に向けた取組を実施し、収益の確保と費用の削減を図った。					
進捗状況と課題	不採算医療の部門は引き続き交付金を活用し、その他の部門の採算性の向上に努める。【健康管理センター】					

主な事業・取組	4. 医師をはじめ医療従事者の確保に努める			R4(2022)年度実績額		52,377千円
細事業名Ⅰ	国保病院運営交付金	実	2-3-②-53	担当課	保健福祉課健康管理センター	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度 実施内容	医師については、年度当初の常勤医4名体制から、5月に3名体制となった。常勤内科医の不足で医師の負担が増大したが、内科の外来体制は維持することができた。 看護師については、4月に1名採用したものの年度中にパート職員含め3名が退職し、看護職員への負担が増大した。 薬剤師の人員不足は解消できないが、情報収集と募集に努めた。 リハ職は、北斗病院から通年でセラピスト2名が派遣されたほか、令和5年2月に作業療法士1名を採用し5名体制となり、地域包括ケア病床の運用を維持した。					
進捗状況と課題	常勤医への負担増を解消するためにも、引き続き常勤内科医の確保に努める。また、看護職員及び医療技術職員の確保も必要であり、特に看護師及び薬剤師の確保は喫緊の課題である。【健康管理センター】					

主な事業・取組	5. 医療専門職をはじめ職員の質の向上のための研修を継続し実施する			R4(2022)年度実績額		13,594千円
細事業名Ⅰ	国保病院運営交付金	実	2-3-②-53	担当課	保健福祉課健康管理センター	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R4(2022)年度実施内容	コロナ禍で集合研修の実施は難しいが、ZOOM等で看護師等に専門的な研修を受講することで職員の能力向上に努めた。また、遠隔研修により、コロナ対策においては感染対策の強化、医師事務作業補助員については能力の向上を図った。【健康管理センター】					
進捗状況と課題	適宜必要な研修に看護師等を派遣(受講)し、人材育成に努めている。コロナ禍で職員全体による集合研修が難しい。【健康管理センター】					

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	健康管理センター長 保坂
健福	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・国保病院の診療科目の充実や北斗病院の協力を得て、町民が安心して受診できる内科外来の診療体制を整えた。また、広尾医療介護連携支援センターの運営により、患者への入退院支援を行ったほか、がん、脳卒中、心筋梗塞の早期発見、早期治療が可能となるMRIを活用したSMILEドックを実施した。（健康管理センター長） ・交通費助成及び腎臓機能障害者通院送迎サービス事業について、必要性の高い事業であるので、目指す方向に進んでいる。（保健福祉課長）		
	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	健康管理センター長 保坂
福健	A 有効であった	評価理由	・医師の人材確保について、北斗病院の協力により、内科外来の診療体制は維持できた。看護師等の人材確保は、看護師の退職者の補充ができず、薬剤師の不足も解消できなかった。財務は、北斗病院のコンサルティングを受け経営改善に向けた取組を実施し、収益の確保と費用の削減を図ったが、医業収支比率が目標値を下回った。また、妊産婦健診の交通費等支援により、経済的負担の軽減を図れた。（健康管理センター長） ・交通費助成及び腎臓機能障害者通院送迎サービス事業について、必要性の高い事業であるので、有効である。（保健福祉課長）		
	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

地域医療体制の充実	2・3・2	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
		一次評価（担当課の評価）				
		B	B			
		二次評価（主管者会議の評価）				
		B	C			
		外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
		B	C			

評価の区分	A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
	B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
	C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができています。
	D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
	E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)	成果目標のうち、平均患者数(外来)が中間目標を超えているとはいえ、前年度より実績が大きく減少し、平均患者数(入院)についても減少していることから、「C」評価が妥当と判断した。	
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		